

# 我が社の雇用事例



## 株式会社 NP・ネクスト

### 企業DATA

代表者	代表取締役 森内 健一郎
所在地	〒671-0223 姫路市別所町北宿字黒畑1156番地
従業員数	140名障がい者6名 (内訳：身体障害者が1名、知的障害者が5名)
URL	<a href="https://www.np-next.jp/corporate">https://www.np-next.jp/corporate</a>



当社は企画、印刷、加工から製品の発送まで、全ての工程を社内で一貫生産が可能な総合印刷会社です。現在は、海外での提携製造工場も数十社あり、ありとあらゆる商品の企画開発を行っております。令和5年に『ニッポン印刷株式会社』から『株式会社NP・ネクスト』へ社名変更いたしました。今後も、モノ作りの楽しさ・難しさ・大変さを感じながら、お客様からのご要望に応えられるように企画提案をして、お客様が手に取って喜んで頂ける商品を作り続け、今後も発展し続ける会社を目指します。

## インタビュー

特別支援学校や就労支援団体からの実習依頼を通じ、その実習での結果をもとに、個々にあった部署で働いていただいております

製造部 次長  
折上 尚也さん



### ■ 障害者雇用のきっかけ ■

障害者雇用に関しては、すでに30年以上前から、極自然な形で障害者の方も働いてもらっています。

現在、障害者は6名在籍しておりその内訳は、身体障害者が1名、知的障害者が5名で、長い方は10年近く働いています。さらに、令和6年の4月にも新しく2名入社する予定です。姫路市内の特別支援学校、就労支援団体からの職場実習の要請には、基本的に全て受け入れております。実習は2回程度（1回の期間は、約1週間から2週間です）行い、少し長めに実習を行う方は3回になる時もあります。基本は同じ部署で実習して頂くのですが、場合によっては、より適性を見る為に複数の部署で実習することもあります。

最終日にはアンケートを記入してもらい意見交換を行います。その結果を参考に双方の合意の上、有期契約社員として入社してもらっています。また、体力的な面を考慮して時短勤務からスタートする方もいます。長年頑張ってく働き管理職からの推薦により正社員になっている方も1名おられます。有期契約雇用、正社員雇用契約のいずれも障害の有無による給与や福利厚生等での格差はありません。

## ■ 障害者の仕事 ■

障害者は製品の検品業務、生産用資材のパレット積み替えや機械への設置などの加工業務を担当しています。仕事内容は、機械に紙をセットして切った物を整える作業と印刷したものに汚れが無いか異物が入っていないか目視する検品作業があります。検品作業は確認基準もあるので、厳しい目に対応していただいています。また必ずしも同じ業務が一つの工程の中で、常にあるとは限らないので、その場合は他の工程の仕事も担当してもらっています。

## ■ 障害者へのサポート ■

昨年、障害者の人をもっと知る為にジョブコーチ研修に参加しました。当社ではコミュニケーションは、障害者の場合も健常者と同じように行なっており、あまり難しく考えたことはなかったのですが、実際研修に参加してみると勉強になると感じた点も多々ありました。以前から障害者の人には積極的に声掛けをしており、何かあれば面談も随時行っています。

特別支援学校の先生と日頃から連携しており、その中でアドバイスをもらう事も多くあります。フォロー担当者が1人だと限界があるので、一緒に働く健常者の方にも障害者の人に気をかけてもらうようお願いしています。わからない事があってもフォロー担当者には聞きづらいと思ってしまう様な人もいますので、職場の人間関係を良く把握し細心の注意をしながら対応しています。

聴覚障害者には、会話の際に口元が読みやすいように透明なマスクを使用するとともに、筆談も合わせて行う事でより丁寧な業務指示も行っております。また、安全面では、危険な機械については、作業内容を判断しながら指導しており、事故は一度もありません。一番多く使われるハンドリフトの作業の際は近くに行き声掛けをしながら、何度も作業の安全確認をして事故が無いように注意しています。

## ■ 関係機関との連携や地域への貢献 ■

採用直後は、特別支援学校や就労支援団体のサポートを強化して、入社数か月後からは自立支援センターの1か月1回程度の面談などによる支援を継続して受けられる体制を構築しています。関係機関との連携や様々な配慮により、障害を持つ社員の平均勤務年数は5年、最長は8年になります。職場定着は良好と言えます。

また、全体の雇用状況の中では、経営のトップは、障害者雇用にも理解を示している事もあり、新規の雇用に関しては、健常者だけでなく、障害者の新規採用も積極的に進めて行こうと考えております。





## 障害者インタビュー

### 橋本 聖那さん

就労支援事業所在籍時に実習を受けて令和5年に入社しました。通勤は電車です。通勤時間は1時間ぐらいになります。仕事内容は、機械に紙をセットした後カットして整える作業をしています。

機械に合わせて対応しないといけないので慣れるまでが少し大変でした。一度、物を落としてしまった失敗がありました。きちんと先輩達がフォローしてくれました。入社当時は、大人たちに囲まれての作業でしたので、緊張し周りの人に聞いたりするのがなかなか出来ず自分で判断する事も多くあり困った時もありましたが、現在は少しずつコミュニケーションをとれ、周りの人に確認することもできるようになりました。

目標は1人暮らしをすることです。きちんと生活が成り立つようにし、最終的に自立することが目標です。

## 障害者インタビュー

### 加藤 達也さん



特別支援学校からの紹介があり、この会社で実習を受けて入社しました。約5年程働いています。通勤時間は、電車です。通勤時間は40分ぐらいになります。

実習に来た時に工場に入るのが初めてだったので難しそうな感じがしましたが、作業の手順がしっかりしていたので、これならできると思い実習を受けてみました。最初はわからない部分もあり上司の方に確認することが多かったのですが、上司の方が丁寧に教えてくださったおかげで出来るようになりました。

失敗談としては、セットした内容を間違えて、そのまま印刷をしてしまった事です。その時はびっくりしてしまって何もできませんでした。先輩達のフォローのおかげで、すぐに調整してもらい大きな事故にはなりません。すごく反省した事を覚えています。

最初は機械作業を担当していましたが、現在は検品作業を担当しています。出来上がった商品を目視で確認するのですが、1枚でも何か不備があればその完成品の1パレットの中身を全部細かく見ることになり、とても大変なのですがやりがいはずごくあります。何もなければ2時間程度の確認作業でおわるのですが、1枚でも不備などがあるとすべての完成品に目を通すので、多くの時間がかかります。その場合は、3人ぐらいで連携してチェックしております。チームワークは素晴らしいです。

目標は不備のある印刷物を見逃さないように日々鍛錬することと、今後も課題や問題が発生した時に1人で抱え込まずに報連相を確実に行って行くことです。